

滋賀で ミライを考える2日間。



近江の国
ミライ会議
2018



—2017年の2月24、25日、みなさんは何をしていましたか？

1年はたったの**365**日 毎日を特別な**1**日に

2018年の2月24、25日は来年も再来年も思い出せる2日間に—

「ミライ」という言葉を聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか？

どんな人生が待っているのだろうかという期待。先行きが見えない不安。

ですがミライ、それを担い、作っていくのは他でもない私たち若者です。

だから自分のミライや世界のミライを、これからミライを作る仲間たちと、

今この瞬間ミライを作っている大人に学びながら、ともに考えてみませんか？

本気で考え、悩み、格闘する その先に広がる世界があるから。

トンネルの向こうの景色を見に行こう！

近江の国ミライ会議2018実行委員長 大澤 健（京都大学2年）

詳細は公式ホームページを、下記URLもしくはQRコードよりご覧ください。
(<https://ssckaname.wixsite.com/miraikaigi2018>)



公式ホームページ

近江の国ミライ会議とは？



このイベントは、2012年に長野県小布施町で始まりムーブメントとなった、地域のミライを若者が考える「若者会議」の流れの中で生まれました。2017年3月18、19日に第一回を近江八幡市で開催し、高校生から社会人まで30名もの若者が集いました。

今回は、「滋賀のミライを考える」から「滋賀でミライを考える」へと視点を変え、滋賀に縛られることなく、自分の将来のこと、世界のこれからのことなど、様々なことを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

イベント概要

開催場所： 希望が丘 青年の城
(〒520-2551 滋賀県蒲生郡竜王町薬師1178)
参照URL: <http://www.kiboupark-shiga.or.jp/use/history/>

対象： 高校生以上の学生(先着50名)

参加費： 6000円(食費・宿泊費を含む)

主催： 滋賀学生コミュニティ kaname
後援： 滋賀県



特別ゲスト

石黒浩(いしぐろひろし)

ロボット学者／大阪大学教授

1963年滋賀県生まれ。大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻教授・ATR石黒浩特別研究所客員所長(ATRフェロー)。2017年から大阪大学名誉教授。工学博士。社会で活動できる知的システムを持ったロボットの実現を目指し、これまでにヒューマノイドやアンドロイド、自身のコピーロボットであるジェミノイドなど多数のロボットを開発。2011年大阪文化賞(大阪府・大阪市)受賞。2015年文部科学大臣表彰受賞。最先端のロボット研究者として世界的に注目されている。

写真提供：大阪大学



近江の国
ミライ会議
2018

申し込み方法:公式ホームページから
応募フォームに登録(先着50名)

お問い合わせ:公式サイト「お問い合わせ」
もしくはメール(ssc.kaname@gmail.com)まで。

滋賀学生コミュニティ kaname